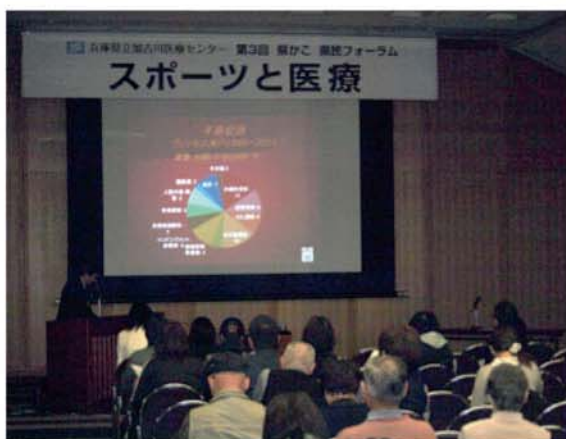




(平成23年11月26日(土) PM2:00~ 加古川総合文化センター 参加者約100名)

検査室 玉川 真



最近の情報化社会の進み方は加速度的に進んでいるように感じてなりません。そして情報化社会の進展にはインターネットが不可欠でした。インターネットは手軽に個人が情報を引き出すことや発信することを可能にしてくれました。医療関係の情報にしても一般の人が簡単に知識が得られるようになりました。しかし光には陰があるようにインターネット情報には落とし穴があります。最近の話題としてアップル社創設者のS.ジョブズ氏の死は記憶に新しいと思います。巷間、彼の早すぎる死は膵臓がんの発見時に手術を拒否して代替療法を選択することで手術が遅れたにあると言われていいます。このことは彼のように知性豊かな人であっても間違

った情報を選択してしまう可能性があるということです。インターネット上の情報は豊富ですが間違った情報や悪意のあるデマが玉石混交の状態です。これらの情報は二次、三次情報でありその真否の判断が難しい場合があります。そうした状況の中で個人がどうしていけばいいのでしょうか。

今回のフォーラムでは加古川医療センターの経験豊富な臨床医である三人の方々それぞれの分野での知識や経験をわかりやすく解説してもらいました。病院からの情報発信は一般市民の方にとって重要な一次情報だと考えます。



講演①

加水分解小麦入り洗顔石鹸により
発症頻度の増えた食物依存性
運動誘発アナフィラキシー

TVCMでよく見た洗顔石鹸が原因で小麦へのアレルギーが誘発される事例についての紹介がありました。非常に大きなニュースになった事例ですが天然由来であるからと無制限に塗ったり貼ったりしてはいけないのだということでした。



講演①

加水分解小麦入り洗顔石鹸により
発症頻度の増えた食物依存性
運動誘発アナフィラキシー

講師 皮膚科部長 足立厚子

